

第2回 穴水町未来づくり会議 ～ 学校を核としたまちづくり ～



グループ名 元穴小生

開催概要

日 時：令和6年12月21日（土）

会 場：穴水町役場 3階大ホール

テーマ：「学校を核としたまちづくり」

内 容：当日は29名の参加があり、6グループに分かれて意見交換を行いました。
新しい穴水小学校の建設場所として、これまでどおりの敷地と穴水中学校に隣接する場合で、どのようなメリットや可能性があるのかを中心に意見交換を行い、その内容をグループの代表者が発表し、参加者全員で考えを共有しました。

キーワード

安全性のある学校
小・中学校の交流がある学校

【 小学校敷地に対する意見 】

○安全性

- ・町の人が近くを通るので、町の人が通る姿が見え、小学生が安全に帰れる
- ・商店街が近い
- ・中学校敷地に比べて歩道が広い
- ・通学時に踏切を渡らなくてよい
- ・災害が起きた時、穴水中学校と穴水小学校とで避難場所を分散できる

○放課後に過ごす場所

- ・B&G海洋センター体育館や公園など、放課後に遊ぶ場所が近くにある

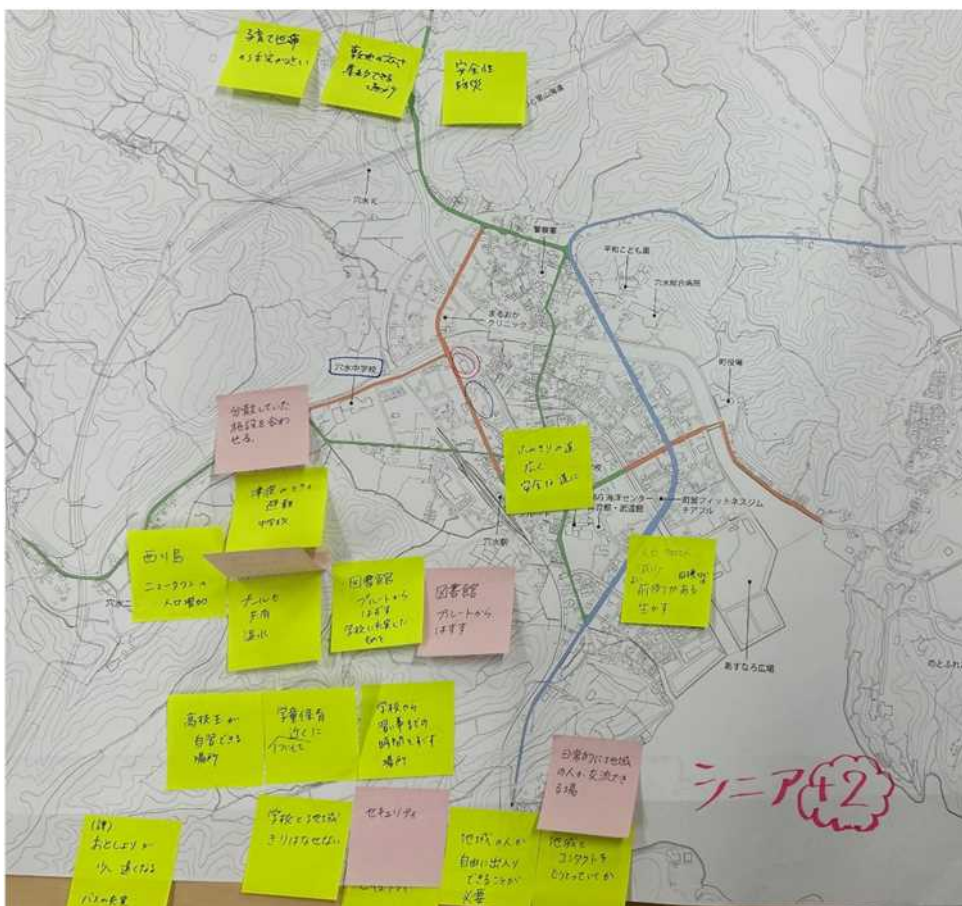
【 中学校敷地に対する意見 】

- ・小学校、中学校に子どもがいる親は送迎の負担が減る
- ・中学生と小学生の交流の場ができる
- ・運動施設を集約することによって利用者の利便性が増す

【 まちづくり、施設提案 】

- ・B&G海洋センター、町営スポーツジム、陸上競技場のような機能を合わせて、町民全員が利用できる場所づくりができる
- ・誰でもコミュニケーションがとれる給食スペースがあるとよい





キーワード

子どもたちも地域も安全に豊かに活動できる
新しい学びの中心をつくる

【 中学校敷地に対する意見 】

- ・小学校の津波避難場所が弘誓寺境内で一時避難しかできない場所なので、避難を考えると中学校敷地が望ましい（中学校3階が避難場所）
- ・中学校敷地南側の道路が狭く、踏切も交互交通しにくい場所になっているので歩道整備等が必要
- ・地震により海沿いの埋め立て地はどんどん人が住まなくなってきた、西川島や穴水ニュータウンに子育て世帯が住宅を建てているので、中学校敷地のほうが通学しやすい場所にある
- ・敷地の広さがあり、町の施設を集約しやすい
- ・穴水総合病院のところにデイサービスがあり、高齢者と距離があるように見えるのが課題だが、JAのそばに建設されている施設が高齢者利用施設であれば、近くにまとまる

【 放課後に過ごす場所 】

- ・学校が終わってから塾や習い事の前の隙間時間に過ごす場所がない（学校管理の場所ではないところが必要）
- ・平和こども園と小学校の横に学童があるが、分かれてしまっていること、徒歩移動の安全性等から、保護者目線では学校のそばに集約したい
- ・バスの時間がちょうどよい時間にならないので、待ち時間が発生したり、保護者送迎が常態化しているので、そのための過ごす場所や高校生の自習場所が必要

【 地域利用 】

- ・現在人口7千人で、今後さらに減少するので、公共施設は集約化したい
- ・図書館機能をプルートから外して学校と複合化し、プルートは本来の交流機能に特化したほうがよいのでは（現在は中途半端で使いにくい）
- ・B&Gのプールも学校に持って行って温水化してほしい
- ・セキュリティは考えないといけないが、地域の人が自由に出入りできるような施設が良い

小学生 低学年チームは、各教室やスペースの写真を見ながら学校に『どんな場所があるとよいか』などの意見交換を行いました。「先生がゆったり打合せできるためのソファ」、「花がみられる道、学校内に花があるとよい」など他者を思いやる意見や「地域の人がいっぱいいる場所」、「世界とつながる教室」など視野の広い意見が多く出されました。



【 学校のイメージ 】

- ・ 楽しい学校
- ・ みんながハッピーにいける学校

【 遊び場 】

- ・ 学校内に花や遊ぶ場所がほしい
(理由)現在の学校の中に少ない
- ・ いろいろ試せる室内の遊び場
(理由)雨が降っても遊べる場所

【屋外スペース】

- ・ 花がみられる学校への道
(理由)毎日花をみながら学校まで行くと楽しいと思う

【 各教室・スペース 】

- ・ 明るく気持ちの良い玄関
(理由)明るい心が落ち着く
- ・ 楽器がたくさんある音楽室
(理由)いろいろな楽器があると音楽の時にどんな音が試せる
- ・ 日本の伝統が学べる場所
(理由)日本の伝統が学べないと日本人らしくない
- ・ 世界とつながる図書館
(理由)世界の人と本の感想を言い合いたい
- ・ 地域の人がいっぱいいる場所
(理由)地域の人とコミュニケーションが大切
- ・ 世界とつながる教室
(理由)色々な人とつながれば外国語を学べる
- ・ 1人で学べるスペースのある図書館
(理由)静かに読書ができる
- ・ いろいろな設備がある保健室
(理由)大けがをした時に、対応できなかった場合に痛い思いをする

【 家具 】

- ・ くつろげるソファ
(理由)くつろぎながら友達と話せる
- ・ 一緒に学びやすいテーブルが付いた椅子
- ・ 先生が落ちついて打合せができるソファ
(理由)先生は忙しいと思うので、ゆったり打合せできればよいと思う
- ・ 司書と交流できるカウンター
(理由)どんな本がおすすめかどんな本を読んでいるかを聞きたい

小学生 高学年チームは、新しい学校施設への想いや学校周辺の環境・それぞれの校地について意見交換を行いました。

実際に穴水小学校に通っているため、新しい学校へのさまざまな想いが意見として出されました。



【 新しい学校施設整備への想い 】

- ・現在は遊びや自由を制限されている
- ・遊具がもっとほしい
- ・体育館が二つ欲しい
- ・もっと人を増やしてほしい
- ・自動販売機が欲しい
- ・みんなの場所を増やしてほしい
- ・文化祭のようなものを小学校でも行いたい
- ・もっと災害に強い学校にしてほしい

【 周辺環境 】

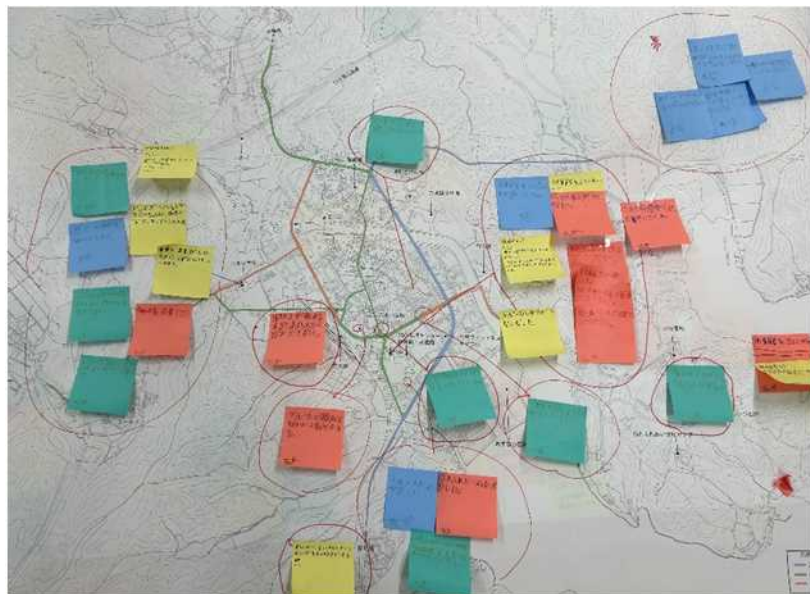
- ・駅の周辺は街灯が明るすぎて寝ることができないときがある
- ・トンネルがあまり好きではない
- ・さわやか交流館プルートは遊ぶ場所がある
- ・真名井児童公園にあるふわふわドームが楽しい、もっと大きくしてほしい
- ・穴水小学校の北西にある交差点はいろいろな人がいる、信号で止まっていやだ
- ・穴水高校東側の高いところからみる風景が好き
- ・穴水小学校の北東にある橋から鳥が飛んでいるのを見るのが好き
- ・北東側の道に暗い場所がある、また色々なものが落ちてきてうるさい

【 小学校敷地に対する意見 】

- ・小学校をもっと広くして快適にしたい
- ・スポーツ施設が少なくなった
- ・津波や洪水が起きた時に逃げる場所が少ない

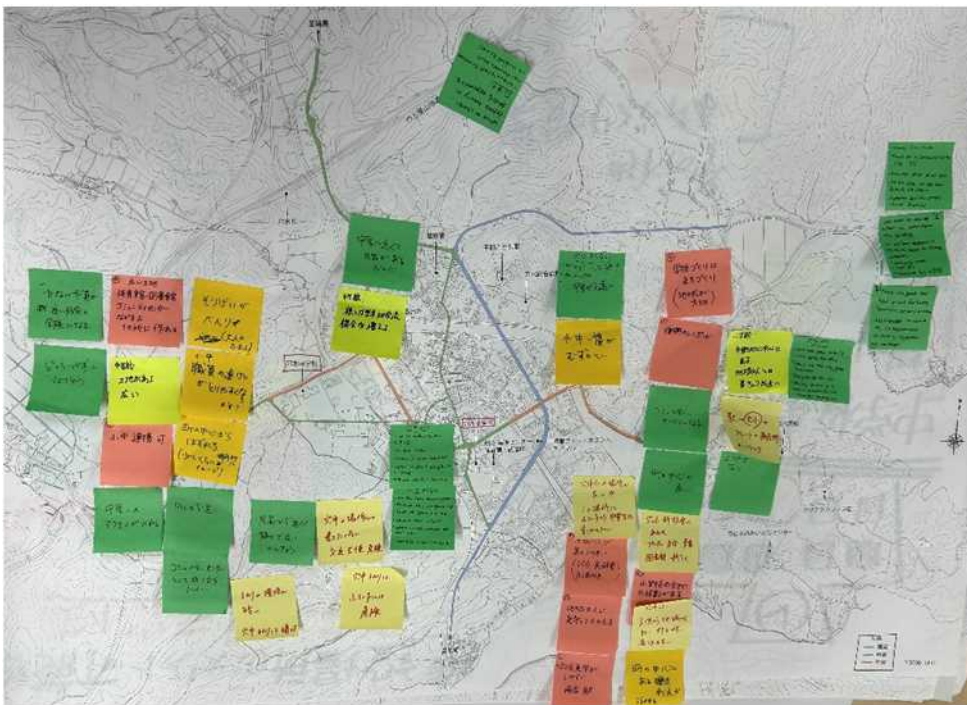
【 中学校敷地に対する意見 】

- ・いろいろな人と一緒に遊べて楽しい
- ・穴水中学校には柔道場がある



キーワード

地域の中心としての学校づくり
小・中学校一体の学校づくり



【 小学校敷地に対する意見 】

○地域の中心としての学校づくり

- ・立地を考えると地域の中心にある学校となり、まちづくりという観点で有利
- ・アクセスしやすく、集まりやすいため、地域の人が見守りやすい
- ・復興のシンボルとなり、コミュニティセンターとして成り立ちやすい
- ・プルートや商店街とのつながりが強くなり、社会科見学がしやすくなる

○施設整備

- ・穴水小学校建設に合わせて、プール、穴水町B&G海洋センター、学童、図書館等を新しくし、集約する
- ・中学校から遠くなるため、小中連携の工夫が必要

【 中学校敷地に対する意見 】

○小・中学校一体の学校づくり

- ・1か所に小学校と中学校を配置でき、連携しやすい
- ・様々な学年との交流機会が増え、活気のある学校ができる
- ・小中学校が同じ敷地であるため、兄弟のいる親が安心しやすいし、送迎が便利
- ・職員の連携が取りやすい
- ・以前に中学校の校舎で小・中学校が生活していた時に、小・中学生のタテのつながりができていた

一方で、階段の蹴上の違いや中学生のテスト時の音環境の確保などの課題はあった

○施設整備

- ・敷地が広いため、コミュニティセンター、体育館、図書館などを一か所に作れる
- ・中心から外れ、コミュニティセンターとして成り立ちにくい
- ・薄暗いイメージがあり、交通量がそこそこ多いため、安全面・防犯面が心配である
- ・民家から距離があるため、静かな環境で学習できる
- ・今までの敷地での小学校の役割を考える必要がある(跡地利用の検討)
- ・これから発展するエリアの核となる可能性がある

【 新しい学校施設整備の想い 】

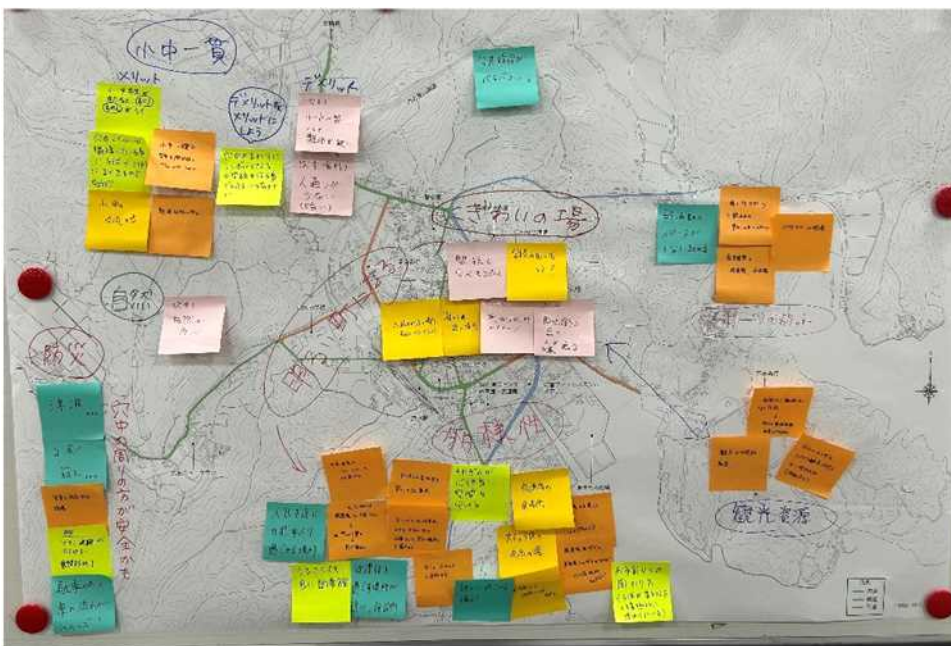
- ・他の地域からも人が来るような魅力やコンセプトのある学校になればよい
- ・司書が学校にいて図書室の可能性が広がる
- ・遊具なども含め、多様な場を用意していけたらよい

【 敷地の決め方 】

- ・地域住民が何を求めているかなどを明確にしてから考えたほうがよい
- ・メリットやデメリットをふまえて、何を作りたいかをみんなで考えて追及する

キーワード

誰一人取り残さずコミュニティを広げていく
賑わいをつくり多様性を受けとめる明るいまち



【 小学校敷地に対する意見 】

- ・駅から近く、駅前で学べるスペースがあると良い
- ・商店街が近く町の中心地

【 中学校敷地に対する意見 】

- ・人通りが少なく薄暗いイメージがあるが、小学校ができれば明るい場所になるのではないかと
- ・小中一貫を行うには中学校敷地が良い
- ・子どもが一つの場所にまとまるので親は安心できるし、まとめて送迎も可能
- ・小中の交流の場となり、勉強以外の学びが得られる

【 防災 】

- ・津波の際に避難しやすい、土砂崩れなど災害に対応できる設備が必要
- ・駐車スペースがほしい
- ・送迎などの車の流れがスムーズになると良い

【 観光資源 】

- ・穴水町のシンボルとなるような施設として観光スポットとして活用し、宿泊施設なども併設できると雇用も生まれる
- ・全国から転校して来なくなる学校

【 スポーツ 】

- ・子どもからお年寄りまでスポーツに関わることができる施設があると良い
- ・障がいの方のスポーツも含め、様々なスポーツに関わりたい

【 多様性を受けとめる場づくり 】

○居心地の良い場所

- ・人目を気にせずゆっくり過ごせる場、交流できる図書館などそれぞれが心地よい空間を分けた環境
- ・たくさんの目があり安心できる施設
- ・オンラインで仕事ができるスペース、送迎待ちができるカフェスペース
- ・大人と子どもの交流の場があると良い

○放課後に過ごす場所

- ・施設内で放課後を過ごせ、中高生のフリースペースもあるとよい
- ・キッチンスタジオで放課後に夕食づくり→作り置き→持ち帰れるような仕組み

○高齢者との関わり

- ・一人暮らしのお年寄りが立ち寄りやすく、集まれる場所
- ・放課後に児童とお年寄り（デイサービスなど）が交流できる仕組み